

STEP 3 採用可能性のある連携形態の判定

STEP 2で整理した対応方策と業務分類から、採用の可能性のある連携形態を絞り込み、判定を行う。

【連携形態判定表】

・ 採用可能性のある連携形態の判定

STEP 4 連携形態の選定

STEP 3で判定した採用の可能性が高い連携形態について、導入による効果、課題、実現性等を整理し、必要に応じて行政事情等を勘案した上で、導入可能性調査等を行うべき連携形態の選定を行う。

【連携形態選定シート】

・ 水道事業者等における概要の整理
・ 採用可能性のある連携形態の概要の整理
・ 採用可能性のある連携形態について導入の実現性等の整理

※各STEPにおける検討を進めるに当たっては、検討の進捗状況を踏まえつつ、必要に応じて前のSTEPに戻り、検討内容等の再確認や見直しを行うことも想定される。

5. 2 各STEPにおける検討手順

STEP 1 現状の連携形態について評価

STEP 1では、水道事業者等における現状及び課題を把握した上で評価を行い、対応が必要な課題について対応レベルと対応期間を整理する。

具体的には、25 頁にイメージとして示す「総括表」(STEP 1)を作成するものであり、「総括表」(STEP 1)を作成するにあたっては、必要に応じて「個別検討シート」(参考資料1)を作成することにより現状把握等を行う。